

フィールドワークの概要

○フィールドワークの目的

気候変動の問題や小金井市の現状などの気候変動について理解を深めた上で、地球温暖化対策に係る身近な市の施策等へ触れていただく機会として、参加希望者で施設見学を実施します。

○本日のスケジュール

- ～10：00～ メタウォーターサステナブルパークこがねいに集合
- 10：05～ 情報提供
- 10：15～ 施設の取組紹介
- 10：30～ 施設内見学
- 11：40～ 滄浪泉園へ移動
- 11：50～ 滄浪泉園の説明
- 11：55～ 園内の見学
- 12：15～ 環境楽習館へ移動
- 12：20～ 施設内設備の見学及び利用状況等の説明等

○見学施設の概要

【メタウォーターサステナブルパークこがねい】

小金井市内で排出される、プラスチックごみ、びん、ペットボトル、空き缶などを選別・圧縮・梱包し、資源にすることができる施設です。プラスチックごみを選別する過程において、手選別作業の安全性と効率性を高める向流式回転選別機（風力選別機）が導入されています。

「次世代につないでいく「サステナブル」な（持続可能な）施設となり、小金井市民の皆さまにとって公園のような憩いの場所にもなってほしい」という願いを込めたネーミングとなっています。



メタウォーターサステナブルパーク
こがねいの施設外観

【滄浪泉園】

明治・大正期に三井銀行の役員、外交官、衆議院議員などを歴任し、活躍した波多野 承五郎（雅号・古溪）氏の別荘の庭園で、小金井市の歴史と共に歩んできた「はけと湧水」をたくみに生かした由緒ある緑地です。

昭和 40 年代の開発の波により開発計画が起りましたが、市民の皆さんの熱心な保存運動により、昭和 52 年、都市緑地保全法に基づく「緑地保全地区」として指定を受けて東京都が買収し、小金井市が管理する有料の「自然緑地」として残されています。庭園内は都市緑地法に基づく「特別緑地保全地区」として、木・竹の伐採は規制されています。



滄浪泉園の入口

【環境楽習館】

身近な自然の力を活用し、環境負荷の少ない暮らしを体験できる住宅型の公共施設です。地球温暖化防止をはじめとする、環境学習の場として活用を行っています。

環境楽習館では太陽光発電などの設備を導入しているほか、水生生物の飼育等を行っています。



環境楽習館の施設外観

○移動ルート



○小金井市（公共施設）の地球温暖化対策

【小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版）】

本市では、令和3年3月に「第4期小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版）」の改訂を行い、令和3年度から令和7年度までの5年間で、令和元年度実測値 5,906 t-CO₂ から 7.6% (449 t-CO₂) 削減することを目標として取組を進めています。

令和4年度から本庁舎、西庁舎及び環境楽習館で再エネ 100 パーセント電力の導入を始めています。

市庁舎等すべての公共施設（庁用車を含む。）における燃料別温室効果ガス排出量

燃 料	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	※※令和5年度 (再エネ導入分を考慮)
電気	4,026,245	3,613,394	3,985,518	4,175,976	3,773,908	3,765,870
都市ガス	1,606,032	1,555,301	1,667,645	1,828,868	1,855,124	1,855,124
灯油	28,969	23,812	20,983	13,456	14,023	14,023
ガソリン	39,793	31,137	30,867	33,074	29,354	29,354
軽油	7,596	5,483	5,344	5,266	5,070	5,070
A重油	186,990	162,600	186,990	195,120	181,841	181,841
L P G	8,770	8,436	11,064	11,898	12,004	12,004
※メタン等	1,797	1,522	1,476	1,522	1,482	1,482
計 (kg-CO ₂)	5,906,192	5,401,685	5,909,887	6,265,180	5,872,806	5,864,768
基準年度対比 (%)	基準年度	△ 8.5	0.06	6.1	△ 0.57	△ 0.7

【小金井市施設における自動販売機設置に関する方針策定】

「小金井市施設における自動販売機の削減に関する方針」を平成 16 年度に策定し、庁舎等の公共施設への自動販売機設置台数の抑制等を図っていました。

近年の自動販売機はゾーンクーリング機能やヒートポンプ機能等があり、方針策定当時の自動販売機と比較し、概ね 60%程度省エネが図られていることや、方針策定後約 20 年間が経過していることなどの理由から台数の削減にとらわれるのではなく、「環境負荷の低減」という視点で見直しをすることとしました。令和 6 年 4 月 1 日より新たな「小金井市施設における自動販売機設置に関する方針」の運用を開始しており、「環境負荷を削減するとともに、災害時等にも活用できる等、付加価値の高い機種への切替えを推進する。」という基本方針を掲げています。



栗山公園に新設された自販機

【小金井市施設ごみゼロ化行動】

市では、市の施設から排出される廃棄物の量を限りなく少なくすることを目的に、平成 21 年 4 月 1 日に小金井市施設ごみゼロ化行動実施要綱を制定しました。これに基づき、市施設のごみゼロ化行動計画を策定し、廃棄物の発生抑制や資源の循環利用を進めています。市職員等は、ごみの発生抑制・再利用・再生利用を図るとともに、ごみ・資源の出し方を遵守し、ごみゼロ化行動に取り組んでいます。取組は、各施設（各課）に推進リーダー、ごみゼロ化行動推進員を選任し、職員等にごみの出し方等の指導を行うとともに、自ら率先してごみの削減に努めています。

また、各施設において廃棄物の減量及び再利用に関する実績報告書の提出も行っています。

廃棄物の減量及び再利用に関する実績報告集計（市施設全体）

	排出量	処分量	再利用率	再利用率
平成 29 年度	381,399 kg	68,365 kg	313,034 kg	82.1%
平成 30 年度	380,676 kg	67,104 kg	313,572 kg	82.4%
令和元年度	337,471 kg	58,810 kg	278,661 kg	82.6%
令和 2 年度	335,588 kg	53,094 kg	282,494 kg	84.2%
令和 3 年度	388,043 kg	59,709 kg	328,334 kg	84.6%
令和 4 年度	375,821 kg	60,649 kg	315,172 kg	83.9%
令和 5 年度	405,706 kg	63,456 kg	342,250 kg	84.4%

【太陽光発電設備の設置】

市では、市の施設への太陽光発電設備の導入を行っており、10 施設 82.95kW を導入し、発電した電力を自家消費することで、エネルギー使用量の削減を図っています。

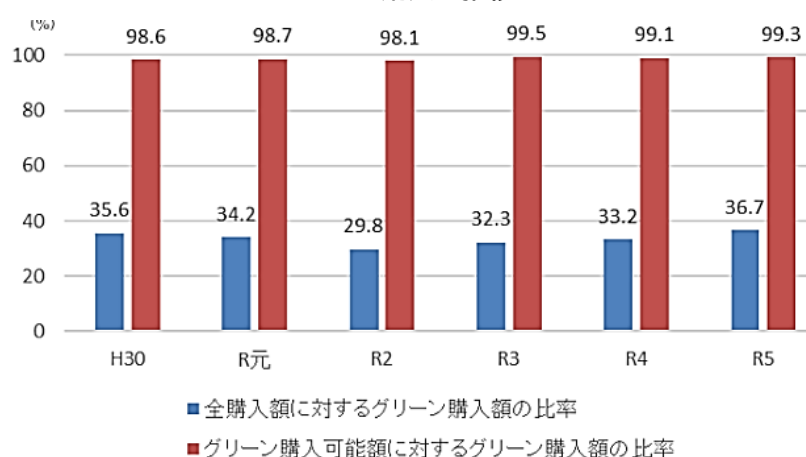
公共施設における太陽光発電システムの運用

	施設名	容量	設置年度
1	東小金井開設記念館（マロンホール）	4.0kW	平成 17 年度
2	中間処理場事務所棟	10.0kW	平成 20 年度
3	たけとんぼ学童保育所	3.99kW	平成 23 年度
4	東小学校	12.6kW	平成 22 年度
5	栗山公園健康運動センター	10.4kW	平成 6 年度
6	上水公園管理棟	8.1kW	平成 17 年度
7	環境配慮住宅型研修施設（環境楽習館）	4.3kW	平成 23 年度
8	児童発達支援センターきらり及びけやき保育園	5.39kW	平成 25 年度
9	貫井北センター	20.27kW	平成 25 年度
10	みなみ学童保育所	3.9kW	平成 27 年度

【グリーン購入活動の実施】

本市では、平成 13 年に「小金井市グリーン購入基本方針」及び「グリーン購入ガイドライン」を策定し、環境に配慮した製品の購入に努めてきました。市内では、平成 14 年度から実績調査を実施し、環境に配慮した製品の購入状況を公表しています。市では、グリーン購入を効果的に推進するため、市内にグリーン購入推進会議を設置しており、令和 5 年度は 2 回の会議を開催しました。今後もグリーン購入を推進し、可能な限り環境に配慮した製品の購入を行っていきます。

グリーン購入の推移



【その他】

上記にある事業の他、市で行っている環境に関連する施策等を公表するため、毎年「環境報告書」を作成しています。詳細は市ホームページをご参照ください。



市 HP「環境報告書」